

「歯科診療所等における新人歯科衛生士等の育成プロセス ー実践編ー」活用説明書

公益社団法人日本歯科衛生士会

新人歯科衛生士が、臨床実践技術を習熟する前に、基礎教育との乖離によるリアリティショックや職場環境に適応できないまま早期に離職することが報告されています。一方で、入職後の研修やフォローアップ体制により早期離職者が減少した例もみられます。

そこで日本歯科衛生士会では、平成29年に作成した小冊子「歯科診療所等における新人歯科衛生士等の育成プロセス（以降、「新人育成プロセス」と呼称）」を多くの歯科診療所にて活用頂くために改訂を行いました。歯科診療所において新人歯科衛生士の皆様の育成に役立てて頂けたら幸いです。なお、さらに有効な冊子に改訂したく、ご意見を頂けたら幸いです。

1. 「新人育成プロセス」の使い方

1) 新人育成に活用する資料は、p18-19です。最終ページに実際に皆様で活用する資料が添付されています。

2) p17『3) 育成プランをつくろう』

臨床実施指導者はp18-19の表7を活用して「育成プラン」をつくります。

- a 育成項目や具体的な内容が診療所の実態とあっているか確認します。あっていない場合や必要がない項目は修正・削除して下さい。
- b 臨床実施指導者は、診療所の全スタッフと相談して担当者を決め、p19の表の一番左の欄「担当」に担当者氏名を記入します。
- c 臨床実施指導者は、育成の時期と期間を担当者と相談して決めます。それぞれの項目の「計画」の場所にオレンジ色で時期と期間を示します。

※重要で簡単な業務から計画的に育成します(次頁上の表を参照)。左上から右下へ流れるように時期をずらしながら育成します。

新人（Aさん）の育成プラン 臨床実施指導者名（河野）			第一段階 新人育成プロセスを参考に育成計画を立てる	第二段階 育成計画の進捗状況を確認する	第三段階 育成計画の進捗状況を確認する
色の意味	計画	計画通り	遅れ・経過	遅れ・経過	遅れ・経過
区分	育成項目	具体的な内容	担当	育成時期	育成期間
A 基礎教育としての心構え	1 就業・責任・行動	所定や就業規則の理解、挨拶、身だしなみ、基本的な常識づくり	院長	1月	1月
	2 就業安全	院内でのコミュニケーション（各部署、職種の連携）、基本的な患者への対応、患者対応、基本的な予防の対応、感染予防の対応	院長	1月	1月
	3 患者対応	診療室・待合室・受付室・スタッフルーム・受付・検査室・レントゲン室の役割と役割、役割の分担、役割の分担、役割の分担	院長	1月	1月
	4 診療・管理	診療室・待合室・受付室・スタッフルーム・受付・検査室・レントゲン室の役割と役割、役割の分担、役割の分担、役割の分担	院長	1月	1月
	5 法の理解・医療安全管理	診療室・待合室・受付室・スタッフルーム・受付・検査室・レントゲン室の役割と役割、役割の分担、役割の分担、役割の分担	院長	1月	1月
	6 感染予防対策（歯科医師）	感染予防対策（歯科医師）	院長	1月	1月
	7 感染予防対策（歯科衛生士）	感染予防対策（歯科衛生士）	院長	1月	1月
	8 感染予防対策（歯科衛生士）	感染予防対策（歯科衛生士）	院長	1月	1月
	9 感染予防対策（歯科衛生士）	感染予防対策（歯科衛生士）	院長	1月	1月
	10 感染予防対策（歯科衛生士）	感染予防対策（歯科衛生士）	院長	1月	1月
B 法令遵守・臨床業務	11 法令遵守	法令遵守	院長	1月	1月
	12 臨床業務	臨床業務	院長	1月	1月
	13 臨床業務	臨床業務	院長	1月	1月
	14 臨床業務	臨床業務	院長	1月	1月
	15 臨床業務	臨床業務	院長	1月	1月
	16 臨床業務	臨床業務	院長	1月	1月
	17 臨床業務	臨床業務	院長	1月	1月
	18 臨床業務	臨床業務	院長	1月	1月
	19 臨床業務	臨床業務	院長	1月	1月
	20 臨床業務	臨床業務	院長	1月	1月
C 歯科衛生技術の基本（初期）	21 歯科衛生技術の基本	歯科衛生技術の基本	院長	1月	1月
	22 歯科衛生技術の基本	歯科衛生技術の基本	院長	1月	1月
	23 歯科衛生技術の基本	歯科衛生技術の基本	院長	1月	1月
	24 歯科衛生技術の基本	歯科衛生技術の基本	院長	1月	1月
	25 歯科衛生技術の基本	歯科衛生技術の基本	院長	1月	1月
	26 歯科衛生技術の基本	歯科衛生技術の基本	院長	1月	1月
	27 歯科衛生技術の基本	歯科衛生技術の基本	院長	1月	1月
	28 歯科衛生技術の基本	歯科衛生技術の基本	院長	1月	1月
	29 歯科衛生技術の基本	歯科衛生技術の基本	院長	1月	1月
	30 歯科衛生技術の基本	歯科衛生技術の基本	院長	1月	1月

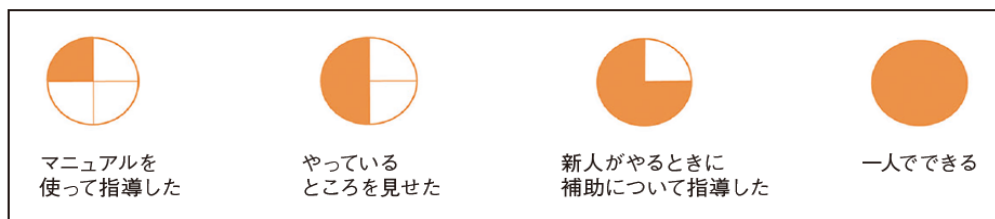
3) p21『取り組みの実施 2) 育成プランを活用しよう』

無理しないで育成を進めます。計画通りに進んでいるかが一目でわかるようにします。つまり、育成の「計画」は時期と期間をオレンジ色で示しましたが、実際に行ったことは、その下の「実施」に青色で書き込みます。もしできなかった場合は、赤色で記入します。

[illegible]

4) 星取り図を使うことにより指導の段階が見えてきます。

指導している業務の中でも、どこまで進んでいるかという段階があります。それを下記のように星取図に記入していきます。円が全て塗られた状態が合格です。



5) 合格していれば、それまでの努力を認めながら新人歯科衛生士の育成を進めます。

育成計画と実践の状況を星取図と合わせてみることで、育成が順調に進んでいるかの判断を行います。上手く行っているときは新人歯科衛生士や担当者へ感謝やねぎらいの言葉をかけましょう。育成が進まない時は、新人歯科衛生士を責めるのではなく、関わっているスタッフと再調整することが大切です。育成を通して新人歯科衛生士が、歯科衛生士としてのやりがいを実感できるようにすることが大切です。

2. 職場外での新人歯科衛生士の育成(Off-JT)

p26 『歯科衛生士会は新人歯科衛生士の成長を応援しています』

1) 職場内教育(OJT)のサポート、eラーニング「DH-KEN」の活用を！

日本歯科衛生士会ではデンタルダイヤモンド社と歯科衛生士の臨床実践力を高めるためのeラーニング「DH-KEN」を共同開発しました。このeラーニングは日本歯科衛生士会の生涯研修プログラムに準じた内容(下図)であり、認定研修を受けるための単位を取ることができます。

DH-KENベーシッククラス・コース一覧 (2020年4月1日時点) ベーシッククラスは有料です。詳しくはHPをご覧ください。



ベーシッククラス コース	講師(敬称略)	総動画時間(約)	ベーシッククラス コース	講師(敬称略)	総動画時間(約)
歯周治療の基本技術			医療面接		
歯周治療の基礎	和泉雄一	3時間10分	医療面接	西田互	3時間20分
検査と評価	古市保志	2時間30分	医療面接2	西田互	2時間30分
口腔衛生指導と生活習慣指導	沼部幸博・野村正子	2時間30分	医療面接3	西田互	2時間5分
スケーリング・ルートプレーニング	新田浩・茂木美保	2時間40分	保存修復治療 機器・材料の変遷		
歯周治療の補助に必要な知識と技術	二階堂雅彦	1時間45分		田上順次	1時間15分
SPT・メインテナンスに必要な知識と技術	浦野智	1時間30分	補綴歯科治療 機器・材料の変遷		
超高齢社会に求められる歯周病予防と治療	和泉雄一	40分		高橋英和・鈴木哲也	1時間50分
口腔機能低下症			歯科衛生士に必要な業務記録の書き方		
	櫻井薫・水口俊介 上田貴之・古屋純一	2時間50分		鳥山佳則	50分
医療安全管理			はじめての在宅歯科医療		
	小林隆太郎 内川喜盛	1時間20分		細野純・山口朱見	2時間10分

POINT どのコースも約10～15分ごとの短いパートに分けてあるので、ちょっとした空き時間に自分のペースで着実に進められます！

2) 職場外教育(Off-JT)

多職種においては病院等で新人育成が積極的に行われていますが、歯科衛生士においては診療所に任されており、地域においては積極的に行われて来ませんでした。今後、新人歯科衛生士が、歯科衛生士としてのやりがいを体感する機会を増やし、一生の仕事として歯科衛生士を続けるために、診療所や地域で新人歯科衛生士を育てることが重要です。

今後は、診療所と連携して、地域で新人歯科衛生士を育成するシステムを構築したいと存じます。今回の小冊子は、診療所における新人歯科衛生士の育成に役立つツールとして改良しました。歯科診療所の皆様からのご意見を頂けましたら幸いです。さらに、新人歯科衛生士に地域で行ってほしい研修等につきましても情報交換をお願いします。